



プロジェクト名称 【参加人数: 72名】

ARCHI FESTA

活動概要・目的 【活動期間: 2012年6月1日 ~ 2013年2月25日】

『ARCHI FESTA』は建築学科、建築工学科、環境システム学科に加え、今年度よりデザイン工学部を含めた4学科で合同で行う卒業設計展である。この卒業設計展は企画・運営をすべて学生が自主的に行い、学部学科の枠を超えて、建築設計を志す者たちが交流し競い合い高めあうプロジェクトである。また、各学科の教授、外部講師や建築家などを招き、その中から優秀な卒業設計の作品を選出する。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
9/27	担当わけ等会議	豊洲キャンパス	当日までに至る作用内容の担当わけ等を行なった
9/27-12/30	広報準備	各キャンパス	ポスターウェブ等の整備を行った
10/27-2/25	招待講師対応	豊洲キャンパス	招待講師選定、交渉、当日対応を行った
2/22	会場設営	豊洲キャンパス	翌日の開催に備え、会場設営および搬入を行った
2/23-25	開催	豊洲キャンパス・テクノプラザ	4学科有志による卒業設計展示の実施を行った
2/25	講評会の実施	同上	優秀作の選出、表彰等を行なった
2/25	撤退	同上	作品の搬出、会場の片づけを行った



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

本年度は準備された200冊の冊子は3日目の昼過ぎにはすべて配りおわり、来場者はリピーターも含めると300人を超えたと予想される。講評会、その後の懇親会も多くの参加者に恵まれ、懇親会では用意したドリンク等も足りなかったようであった。
また前年度一人しかご来場願えなかった招待講師は、各学科の協力により、本年度は西沢大良先生安宅研太郎先生をお招きすることができた。
本年度より少額ではあるが学科からの予算提供が実現したが、配分がうまくいかず、結果として学プロ費用をうまく使うことができなかった。
途中で小さなミス、トラブルを抱えたが、プロジェクトを無事終わることができ、全体としては成功と言えよう。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

プロジェクトの転換という意味では、本年度から開始された学科からの予算提供が来年度以降の本プロジェクトにおけるネックとなるだろう。
本年度は計50,000円の予算を各学科もしくは各学科学生より頂き、懇親会や招待講師費用等に充てることができた。しかし展示スペースの充実を図るための費用が不足、結果として多くの作品が床置きになったり、プレゼンテーションパネルの展示方法がまちまちになってしまったりしていた。
来年度以降の担当者たちには、4学科からの費用と学プロ費用の計5つの予算をうまく配分して使ってほしい。

またアーキフェスタの担当者以外の学生、及び各学科の先生方の多大なるご協力により本プロジェクトが成り立ったことを強く実感し、感謝したい。



プロジェクト活動写真

